

ガス湯沸器〈瞬間式〉

セントラルタイプ

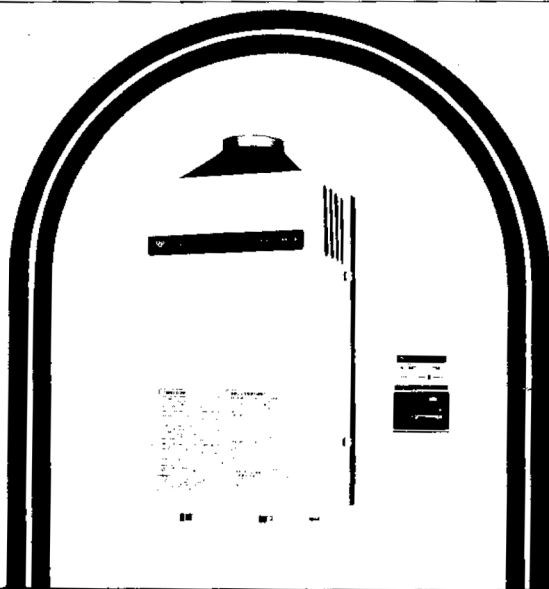
33-815型 (排気筒式)
33-855型 (排気筒式)
33-856型 (強制排気式)

法定型式
S8-10型
S13-10型
S13S10型
S13-10型(BL)
S13S10型(BL)



大阪ガス

取扱説明書



ガス器具をお使いになる時のご注意



ガスゴム管も
ときどき点検を
よいゴム管を
ガッチリと…



使用中は
熱くなります
手をふれないで
ください。



空だきには
ご注意ください



ガス器具は
ガスの種類にあった
正しいものを…

●ご使用前に必ずこの説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

このたびは、大阪ガスのガス湯沸器〈瞬間式〉をお求めいただきありがとうございます。

ご使用前にこの取扱説明書と別冊の工事説明書をよくお読みのうえ、別添の保証書とともに大切に保管してください。

目次

- ① この湯沸器は、一台で数カ所に給湯できるセントラルタイプのガス湯沸器(瞬間先止め式)です。
- ② リモートコントローラにより、離れた所から点・消火および能力調節が行なえ、非常に便利です。能力調節は、スライドコントロール方式です。
- ③ お湯を使用されない時は、パイロットバーナーが自動的に消火します。パイロットバーナーのつけ放しによる、ムダなガス消費がなく経済的です。
- ④ 電子回路による検点火装置付のため、静かに確実に着火します。
- ⑤ 厳寒期における凍結防止補助のため、低温作動ヒーターを組込んでいます。

●特に注意していただきたいこと	1
■各部の名称	3
■ご使用方法	4
■安全装置が作動したときの処置方法	6
■日常の点検・お手入れ	7
■故障・異常の見分け方と処置方法	10
■長期間使用しない場合	10
■仕様	11
■アフターサービス(維持管理について)	13

■特に注意していただきたいこと

安全に正しくお使いいただくために、この項は必ずお読みください。

■使用ガスについてのご注意

- ガスの種類を確かめてください。
- 湯沸器本体(側面)にはってある銘板(ラベル)に表示のガスの種類とお宅のガスが一致しているかを必ず確かめてください。
- 転宅されたときにも、供給ガスの種類と銘板のガスの種類が一致していることを、必ず確かめてください。ガスの種類が一致していないときは、お近くの大阪ガスサービスショップ、もしくは大阪ガス支社、サービスステーションにご連絡ください。

- ガスの種類には都市ガスとLPガスとがあり、都市ガスにはガスグループの区分があります。

例 都市ガス用	例 LPガス用
S8-10型 都市ガス用 6C 15,500Kcal/h 定格電圧 単相AC100V 定格消費電力 100/100W 定格周波数 50/60Hz E2・4-000001 株式会社 福栄製作所	S8-10型 LPガス用 1.18g/h 定格電圧 単相AC100V 定格消費電力 100/100W 定格周波数 50/60Hz E2・4-000001 株式会社 福栄製作所

■使用電源についてのご注意

- 銘板に表示された電源(電圧・周波数)以外では使用しないでください。

■使用上のご注意

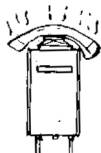
1. ガス漏れ予防

- (1)使用中にガスのおいや、不快なおいがかた時どき確かめてください。
- (2)使用後は必ずリモートコントローラの電源スイッチを切り、電源ランプ、燃焼ランプが消灯したことを確かめてください。
- (3)お出かけやお寝みの際には、ガス元を必ず閉めてください。



2. 火災予防

- (1)湯沸器の上や周囲に燃えやすいものを置かないでください。
- (2)火をつけたまま就寝、外出は絶対にしないでください。



3. 火傷についてのご注意

使用中および消火直後は、排気のまわりが高温になっていますので、手をふれないでください。



4. 雷が発生したときの処置

落雷のおそれのあるときはリモートコントローラとヒーター用(ファン用)の電源プラグを抜いてください。

5. ガス事故防止

- (1)ガス漏れに気づいたときは、すぐ使用をやめてガス元を閉じ、窓や戸を全部あけて、ガスを外へ出してからお近くの大阪ガスサービスショップもしくは大阪ガス支社サービスステーションにご連絡ください。
- (2)万一ガスが漏れたときは、絶対に火をつけたり換気扇その他電気器具のスイッチの入、切や電源プラグの抜き差し等をしてはいけません。



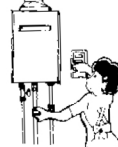
6. 凍結についてのご注意

冬期湯沸器内の水が凍るおそれのあるときは、凍結による湯沸器の破損を防止する処置を必ず行なってください。詳しくは8ページ「冬期の凍結による湯沸器の破損防止について」の項をお読みください。

7. 使用中に燃焼ランプが点滅したとき
リモートコントローラの燃焼ランプが点滅したときは、給湯せんを閉め電源スイッチを切ってください。しばらく(約1分)行ってからガス元が開いているのを確認して、再度電源スイッチを入れ給湯せんを開いてください。再度燃焼ランプが点滅した時は、給湯せんを閉め電源スイッチを切って、お近くの大阪ガスサービスショップもしくは大阪ガス支社サービスステーションにご連絡ください。

8. 異常時の処理

万一異常燃焼したときや、緊急の場合、リモートコントローラの電源スイッチを切り、ガス元を閉じて消火してください。



9. 使用中、万一異常な臭気または異常な燃焼音が感じられたときには、すぐ使用を中止して、お近くの大阪ガスサービスショップもしくは大阪ガス支社サービスステーションにご連絡ください。

10. 飲料用、調理用としてお使いのとき

湯沸器内に長時間たまっていた水は、飲料用又は調理用に用いないでください。

■日常の点検・お手入れ

1. 日常の点検、お手入れは必ず行ってください。●詳しくは7ページをお読みください。
2. 故障又は、破損したと思われるときは使用しないでください。不完全な修理は危険です。万一具合が悪くなって処置に困るような場合は、お近くの大阪ガスサービスショップもしくは大阪ガス支社・サービスステーションにご相談ください。

■器具の設置について

1. 湯沸器の設置はお近くの大阪ガスサービスショップもしくは大阪ガス支社・サービスステーションに依頼し、安全な位置に正しく設置してご使用ください。
2. 正しく設置されているか確認してください。(別冊の「工事説明書」を参考にしてください。)

11. 水圧が下がったとき

この湯沸器は、0.5kg/cm以上の水圧が必要です。ご使用中でも水圧が0.5kg/cm以下にさがると、メーンバーナーは消火しますが故障ではありません。

12. 同時使用のとき

小流量高温タイプの湯沸器です。2箇所以上で同時にお湯を使用されますとお湯が出ない場合もあります。その時は、5ページ「湯量調節」の項をお読みになって、湯量を調節してください。又、シャワー等をご使用中に、他の給湯せんを使用しますと、湯量や湯温が変動いたしますので、ご注意ください。

13. お湯の白濁について

出湯直後にお湯が白く濁って見え、しばらくすると透明になることがあります。これは水中に溶け込んでいた空気が熱せられ、大気圧まで急速に減圧されることで細かい気泡となって出てくる現象です。ビール、サイダー等の泡と似た現象であり汚濁とは違い、全く無害なものです。

14. あと沸きについて

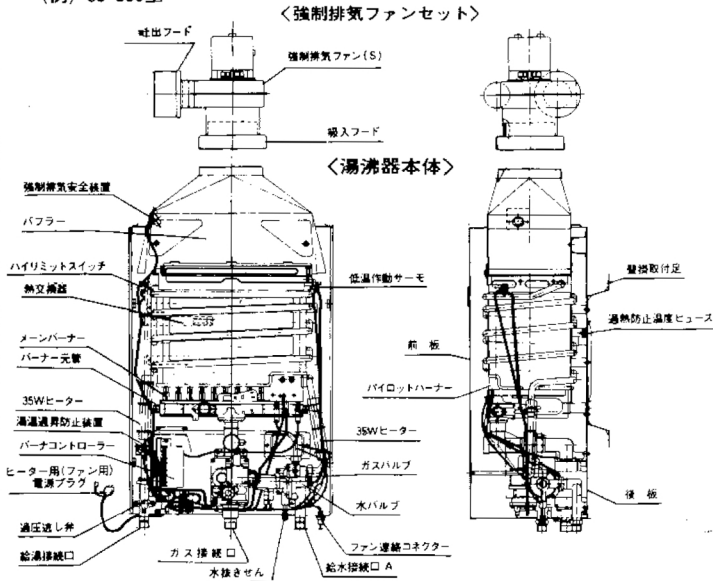
継続してお使いになるとき、最初に出るお湯は特に熱くなる場合がありますので、少し出してから、手をふれるようにしてください。

15. 換気のご注意

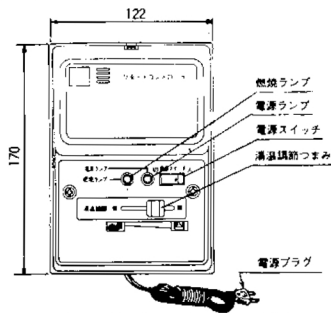
お部屋の給気口排気口は常に確保し、物などでふさがないようにしてください。

■外観・構造

(例) 33-856型

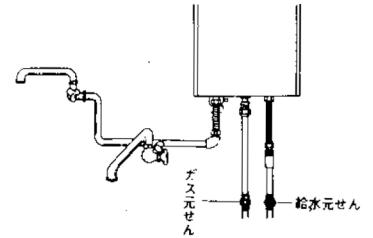


＜リモートコントローラ＞



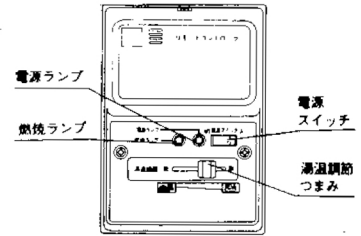
■点火前の準備と確認

1. 給水元せん、給湯せんを開き通水することを確認してください。
確認後は給湯せんをしめてください。
 2. リモートコントローラの電源スイッチが切れているのを確認し電源プラグをコンセントに差し込んでください。
 3. ヒーター用(ファン用)電源プラグをコンセントに差し込んでください。
 4. ガス元せんを全開にしてください。
- (ご注意) この湯沸器は停電の時には使用できません。



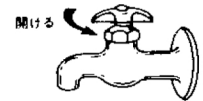
■点 火

1. リモートコントローラの電源スイッチを「入」にしてください。電源ランプが点灯するのを確かめてください。



■給 湯

1. 給湯せんを開けますと自動的にメーンバーナーに着火し、燃焼ランプが点灯してお湯が出ます。(33-856型はファンも作動します。)
2. 約10～20秒待っても着火しなかったときは燃焼ランプが点滅します(長期不在のあとや朝一番など、ガス配管中に空気が残っていて、一回で着火しない場合があります)ので、給湯せんを開めて電源スイッチを切り約10秒待ってから再度電源スイッチを入れてください。



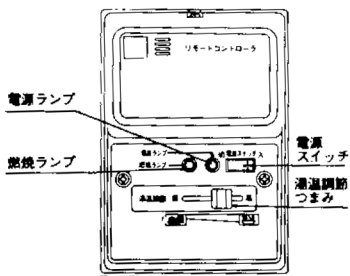
【ご注意】

- 使い始めは給湯配管内の冷水を追い出すまでお湯はでません。
- 給湯せんを極端に絞りますと、湯温が極端に変動しますので、給湯せんは全開の状態でお使いください。
- 何回点火操作を行っても燃焼ランプが点灯しなく給湯せんからお湯が出てこない場合は、お近くの大阪ガスサービスショップ、もしくは大阪ガス支社、サービスステーションにご連絡ください。

■能力調節

ガス量の調節はリモートコントローラの湯温調節つまみで行なってください。

- 夏、シャワーなどに「ぬるい」お湯をご使用になるときは、湯温調節つまみを「低」の方へ動かしてください。
- 冬「あつい」お湯をご使用になるときは、湯温調節つまみを「高」の方へ動かしてください。
- 夏期「低」の位置でも湯温が高い場合、また冬期「高」の位置でも湯温が低い場合は、「湯量調節」の項に従って湯量を調節してください。



■湯量調節

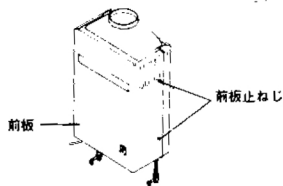
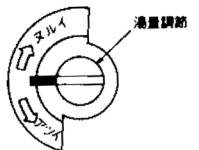
この湯沸器は小流量高温タイプです。どうしてももっと湯量が多い時、あるいは、湯量を減らしたい時は、前板右下部にある湯量調節を硬貨又はカードリーダーで湯量を増す場合は「スライ」方向へ、湯量を減らす場合は「アツイ」方向へ回してください。

33-815型は前板をはずして調節してください。

前板のはずし方

- (1)前板止ねじを左に回して、はずしてください。(左右4コ)
- (2)前板を手前に引きますとはずれます。

(例)
33-815型



■消火

1. 給湯せんをしめすと、お湯が止まり、メインバーナーの炎が消えます。(33-856型はファンも停止します。)つきにお使いになるときは、給湯せんを開くだけでメインバーナーに着火してお湯が出てきます。
2. 湯沸器をご使用にならない時は、リモートコントローラの電源スイッチを切っておいてください。



■安全装置が作動したときの処置方法

■処置について

ご使用中に自動的に運転が止まったり、メインバーナーが消火してしまったときは、次の方法並びに10ページ「故障・異常の見分け方と処置方法」により処置してください。

■バーナー安全装置

メインバーナーの炎が消えたときには、安全装置働いて自動的にガスが止まりリモートコントローラの燃焼ランプが点滅しますので、メインバーナーの消火に気づいた時は、すぐ電源スイッチを切ってください。

再点火する時はすぐ点火をせず、しばらく(約1分)待ってから注意して行ってください。すぐに点火操作をされますと危険です。

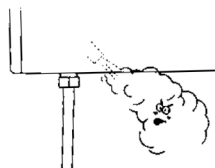
注) 再点火する時、給湯せんをしめてから点火操作を行なってください。

■ハイリミットスイッチ(熱交換器温度感知)

熱交換器の異常な温度上昇をキャッチしてすべてのガスの通路を遮断し、火を消します。

ハイリミットスイッチがはたらいたときは、電源スイッチを切ってからガス元せんを閉じて、お近くの大阪ガスサービスショップ、もしくは大阪ガス支社・サービスステーションへご連絡ください。

注) ハイリミットスイッチが作動するときは、熱交換器の中の圧力が異常に高くなり、器具の損傷を防ぐため過圧逃し弁から圧力を逃します。高温の蒸気が噴出しますので、ご注意ください。



■過熱防止温度ヒューズ

ご使用中、湯沸器内の温度が異常に高くなったとき、過熱防止用ヒューズが溶けガスの通路を遮断し、火を消します。

過熱防止装置がはたらいたときは、電源スイッチを切ってから、ガス元せんを閉じ、お近くの大阪ガスサービスショップ、もしくは大阪ガス支社、サービスステーションへご連絡ください。

■低温作動ヒーター

この湯沸器には、低温作動ヒーターがついています。冬場外気温度が降下したとき、低温作動ヒーターが凍結予防のために作動して湯沸器内の水を暖めます。詳しくは8ページ、冬期の凍結による湯沸器の破損防止についての項をご覧ください。

■強制排気安全装置(33-856型のみ)

ファンの故障、排気筒のつまりなどにより室内に排気洩れを起したとき自動的に安全装置働いてすべてのガス通路を遮断し、火を消します。このようなときは、給湯せんをしめて電源スイッチを「切」にして、お近くの大阪ガスサービスショップもしくは大阪ガス支社、サービスステーションへご連絡ください。

■湯温過昇防止装置

水温が高くなったり、水圧が低いときに湯温が過度に上昇する可能性があるため、湯温過昇防止装置を設けてあります。この装置が作動しますと、湯温が極端に変動しますが、このままではシャワーやお台所での使用には不適当です。5ページの能力調節の項にしたがひ、能力を小さくして湯温変動のない状態にてお使いください。

■ 日常の点検・お手入れ

■ 点検・お手入れの際のご注意

湯沸器を安全・快適にお使いいただくために、日頃の点検・お手入れを習慣づけるようにしてください。

- ①お手入れの前には必ずガス元せんを閉じ、リモートコントローラとヒーター用(ファン用)の電源プラグを抜いてください。
- ②安全装置及びガスの通路部分は絶対に分解しないでください。

■ 点 検

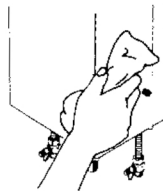
- ①湯沸器のまわりに燃えやすいものは置かないでください。
- ②湯沸器の排気口及び吸気口をふさがないようにしてください。
- ③メインバーナーに着火するとき、大きな音がしたり、使用中にゴーゴー音がするときは給湯せんまたはシャワーせんを閉め、しばらく待って再び使用してください。このようなことが時々起る場合は、お近くの大阪ガスサービスショップ、もしくは大阪ガス支社・サービスステーションにご連絡ください。
- ④湯沸器が古くなると熱交換器やバーナーにサビやスス、ほこり等がつかまります。また取り付け場所によりバーナーに「くも」が巣をはることがあります。このような場合不完全燃焼を起すことがあり、ときどきご使用中に異常(異常音、排気に不快な臭い、目にしみる等)がないか確認してください。異常に気づかれた場合は、使用を中止し、ガス元せんを閉めてお近くの大阪ガスサービスショップもしくは大阪ガス支社・サービスステーションにご連絡ください。

■ お手入れ

1. 前板のお手入れ

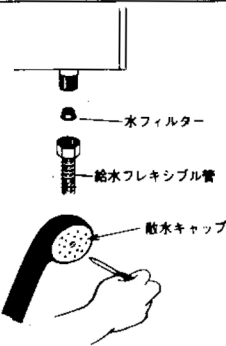
汚れは布または、スポンジに台所用洗剤(中性洗剤)をつけてふきとってください。

注) 洗剤はのこらないようにふきとってください。
シンナーやベンジンなどでふかないでください。印刷がはげます。



2. 水フィルターの掃除

水フィルターに配管内のゴミ、砂がたまりますとお湯が出にくくなり、ひどい場合には、バーナーの炎が消えたりします。その場合は給水元せんを閉め、給水フレキシブル管ナットをはずし、水フィルターを引き出して掃除してください。



3. シャワーヘッドのお手入れ

シャワーをお使いになるとき、お湯が出にくくなったり、バーナーの炎が消えたりするときは、シャワーヘッドにごみがつまっていることがあります。シャワーの散水キャップを取外して掃除してください。

■ 冬期の凍結による湯沸器の破損防止について

冬の厳寒期には湯沸器や給水・給湯配管の水が凍結し破損事故が起ることがあります。そこで、庭のたまり水などが凍結のおそれのある日は、給湯せんから水を流し放しにするなどの凍結防止処置をしてください。

1. 給湯せんからの水を流し放しにする方法(一般的な凍結防止方法)

「この場合は湯沸器本体だけでなく、給水管、バルブ類の凍結も防止できます。」
ガス元せん、リモートコントローラの電源スイッチを切り、湯沸器に火がつかないようにしてから給湯せんより少量の水【1分間に牛乳びん1本以上(200cc以上)、ただし寒さにより、流量が異なりますので特に寒い日は多目に】を流し放しにしておいてください。また、流量が不安定な事がありますので、念のため30分ぐらい後にもう一度流量をご確認ください。水を溶そうに流し込まれますと、一晩で浴そう半分から一ぱい程度になります。翌日雑用水としてご利用ください。

2. 湯沸器内の水を抜く方法(入居前や長期不在の場合、外気温度が-5℃以下になるような場合)

注) この方法は給水配管部分の凍結防止はできません。次の手順で湯沸器内の水を抜いてください。

- ① リモートコントローラの電源スイッチを切ってください。
- ② ヒーター用(ファン用)電源プラグを抜いてください。
- ③ ガス元せんを閉める。
- ④ 給水元せんを閉める。
- ⑤ すべての給湯せんを開く。
- ⑥ 水抜きせん④、⑤、⑥を左に回す。

注) 水抜きせん④、⑤、⑥と給湯せんは次にお使いになるときまで、ゆるめたままにしておいてください。

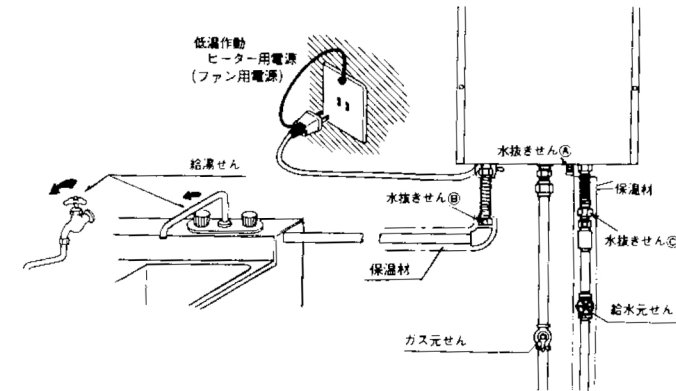
注) 再度ご使用されるときは、水抜きせん④、⑤、⑥を開め給水元せんを開き、給湯せんから水が流れるのを確かめてください。

■故障・異常の見分け方と処置方法

ご使用中に、ふだんと違った状態になったときや不都合が生じたときは、そのままお使いにならず、直ちにご使用を中止して十分な点検をお願いします。

■故障、異常の見分け方と処置について (○=主要因 △=原因)

原因	現象		処置方法										販売店・支社 営業所 お客様				
	給湯せんにくも閉じていても着火しない。	使用中に消火しやすいた。	低温の湯が出ない。	高温の湯が出ない。	使用中湯気が浴室内に充満する。	お湯を止めても消火しない。	異常で燃える。	たまり水などが作動する日に低温作動	低温作動が頻りに発生する。	低温作動が頻りに発生する。	低温作動が頻りに発生する。	低温作動が頻りに発生する。					
ガス元せんの開き不十分	△	△	○												電源スイッチを「切」にしてガス元せんを全開にする。	○	
ガスが無い(LPガス用)	△	△			△										LPガスボンベ残量・LPガス販売店。	○	
配管内に空気が残っている。	△	△													ガスが正常に出るまで十分注意しながら使用。	○	
ガス圧が適切でない	低い	△	△	○											他の器具も同様の場合は点検依頼する。	○	
	高い				△				△						(他に原因がないとき)	○	
給水元せんの開き不十分	○	△			○										給湯せんを一人間閉じてから給水せんを全開にする。	○	
水圧が適切でない	低い	○			○	△									点検又は点検依頼する。	○	
	高い				△										(他に原因がないとき)	○	
水フィルターのつまり	△	△			○	△									つまり除去又は依頼する。	○	
断水している	○	○													使用を一人間中止する。	○	
凍結している	○														解冻するまで使用を中止する。	○	
バーナー穴口がつまり、空気口がつまり					△					△					点検を依頼する。	○	
熱交換器の目づまり					△					○					点検を依頼する。	○	
湯温調節が適切でない					○	○	○								「ご使用方法(能力調節)」参照	○	
給湯せんの開き不足							○								給湯せんを全開にする。	○	
ノズルづまり	△	△													点検を依頼する。 (他に原因がないとき)	○	
安全装置が作動	○	○					○								点検を依頼する。 (度々作動する場合)	○	
水ガバナの故障	△		△	△	○	△									点検・修理・部品交換を依頼する。 (他に原因がないとき)	○	
電気部品の故障	○								○						点検を依頼する。	○	
低温作動サーモの故障															○	点検を依頼する。	○



■低温作動ヒーターについて

- この湯沸器には、万一上記の凍結防止処置が忘れた場合や、急な冷え込みの時のために、低温作動ヒーターを組込んでいます。温度が5℃以下になると自動的に作動します。
- これは、凍結防止補助のためのもので、低温作動ヒーターが働いていても、温度が-5℃以下になるような場合は効果がありません。

3. 凍結したとき

- ①湯沸器や配管が破損しますと、高額の修理費用がかかる場合があります。(有償)
- ②凍結したままでは絶対に使用しないでください。凍結したまま使われますと、湯沸器に異常が生じる場合があります。凍結が溶けた後、水もれがないのを確認の上ご使用ください。

□長期間使用しない場合

長期間ご使用にならない場合はガス元せんを閉じ湯沸器内の水抜きを行なってください。水抜き方法については8ページの「冬期の凍結による湯沸器の破損防止について」の項をお読みください。

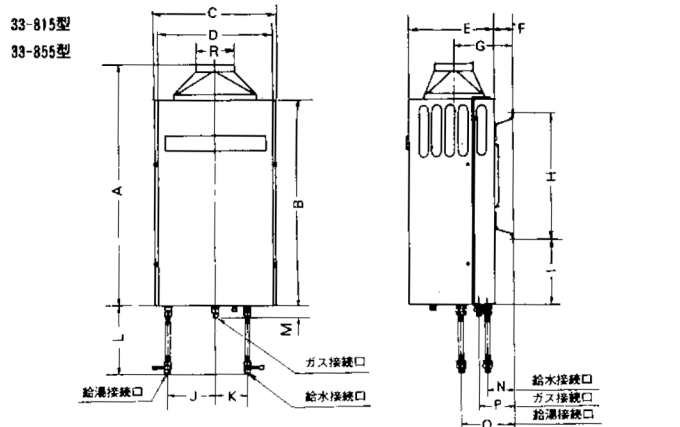
仕 様

器 種 名	ガス湯沸器(セントラルタイプ)			
形式の呼び	33-815型	33-855型	33-856型	
種類	給(出)湯方式	先止め式		
	給排気方式	排気筒式	強制排気式	
点火方式	連続スパーク点火方式・着火時パイロット点火			
作動水圧	0.5kg/cm ²			
外形寸法	高さ	682mm	791mm	1028mm
	幅	346mm	456mm	456mm
	奥行	250mm	260mm	260mm
重量(本体)	13kg	19kg	20kg	
接続	給 水	15A (PT $\frac{1}{2}$ B)	20A (PT $\frac{1}{2}$ B)	20A (PT $\frac{1}{2}$ B)
	給 湯	15A (PT $\frac{1}{2}$ B)	20A (PT $\frac{1}{2}$ B)	20A (PT $\frac{1}{2}$ B)
	排 水	20A (PT $\frac{1}{2}$ B)	20A (PT $\frac{1}{2}$ B)	20A (PT $\frac{1}{2}$ B)
電 源	単相 AC100V 50Hz/60Hz			
消費電力	100/100W	105/105W	160/153W	
消費電力(BL)	120/120W	125/125W	180/173W	
電源コード長さ	リモートコントローラ用 1.5m		ヒーター用(ファン用) 1.5m	
リモートコントローラ外形寸法	高さ170mm×幅122mm×奥行78mm			
安全装置	<ul style="list-style-type: none"> ●バーナー安全装置(フレムロッド方式) ●過圧逃し弁 ●ハイリミットスイッチ ●線点火装置 ●過熱防止温度ヒューズ ●湯温過昇防止装置 ●強制排気安全装置(33-856型のみ) 			
付属品	<ul style="list-style-type: none"> ●給水・給湯フレキシブル管 ●壁掛取付足 ●リモートコントローラ 			

器具形式	33-815型				33-855型				33-856型			
使用ガス	1時間当り の消費量 Kcal/h	出湯能力 (ℓ /min)	上昇温度	ガス接続	1時間当り の消費量 Kcal/h	出湯能力 (ℓ /min)	上昇温度	ガス接続	1時間当り の消費量 Kcal/h	出湯能力 (ℓ /min)	上昇温度	ガス接続
				25°C 40°C				25°C 40°C				25°C 40°C
都市ガス	6C	15,500 (8.1)	5.1	15A (PT $\frac{1}{2}$ Bガス管)	25,500 (13.4)	8.3	20A (PT $\frac{1}{2}$ Bガス管)	25,500 (13.0)	8.1	20A (PT $\frac{1}{2}$ Bガス管)		
LPガス用	13A	15,500 (8.1)	5.1	15A (PT $\frac{1}{2}$ Bガス管)	25,500 (13.4)	8.3	20A (PT $\frac{1}{2}$ Bガス管)	25,500 (13.0)	8.1	20A (PT $\frac{1}{2}$ Bガス管)		
	6A	15,500 (8.1)	5.1	15A (PT $\frac{1}{2}$ Bガス管)	25,500 (13.4)	8.3	20A (PT $\frac{1}{2}$ Bガス管)	25,500 (13.0)	8.1	20A (PT $\frac{1}{2}$ Bガス管)		
LPガス用	1.1kg/h (7.3)	4.6	15A (PT $\frac{1}{2}$ Bガス管)	2.0kg/h (12.6)	7.9	20A (PT $\frac{1}{2}$ Bガス管)	2.0kg/h (12.3)	7.7	20A (PT $\frac{1}{2}$ Bガス管)			

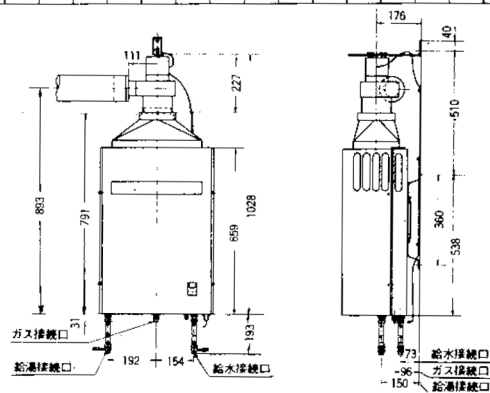
備考●出湯能力は給水圧力1kg/cm²のとき
●ガスはJISに規定する標準ガス標準圧力のとき。
●上表の出湯能力()は、湯水混合水で混合した時の数値です。

■外形寸法図(湯沸器本体)



	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	P	Q	R
33-815型	682	585	346	330	250	50	166	360	184	137	92	193	33	73	96	150	φ110
33-855型	791	659	456	440	260	50	176	360	178	192	154	193	31	73	96	150	φ40

33-856型



	ガ ス	給 水	給 湯
33-815型	15A (PT $\frac{1}{2}$ B)	15A (PT $\frac{1}{2}$ B)	15A (PT $\frac{1}{2}$ B)
33-855型	20A (PT $\frac{1}{2}$ B)	20A (PT $\frac{1}{2}$ B)	20A (PT $\frac{1}{2}$ B)
33-856型	20A (PT $\frac{1}{2}$ B)	20A (PT $\frac{1}{2}$ B)	20A (PT $\frac{1}{2}$ B)

●10ページの「故障・異常の見分け方と処置方法」に示すような故障の症状があった場合、この取扱説明書をよくお読みのうえ、再度点検をしていただき、なお異常のあるときは保証書をお示しのうえ、お近くの大阪ガスサービスショップ、もしくは大阪ガス支社・サービスステーションにお申し出ください。

●ご不審な点や故障のおきたとき、また部品については、お近くの大阪ガスサービスショップ、もしくは大阪ガス支社・サービスステーションにお申し出ください。

●ご連絡いただくときは、湯沸器の左側面に貼付してあるコード番号も合わせてお知らせください。

(例)

(4)33-815(U)

大阪ガス株式会社

別添の保証書は大切に保存してください。

(N)33-855(U)

大阪ガス株式会社

■転居される場合

ガスには15の種類があります。ご転居などによりガスの種類が変わるときには、お近くの大阪ガスサービスショップ、もしくは大阪ガス支社・サービスステーションにご相談ください。この場合の改造に要する費用は、保証期間内でありましても有償です。

■増改築される場合

湯沸器を取付けた後で増改築などにより、湯沸器の設置環境が変化する場合は、お近くの大阪ガスサービスショップ、もしくは大阪ガス支社・サービスステーションにご相談ください。

■定期点検のすすめ

毎日お使いいただいているガス器具も、安心して末永くお使いいただくためには、定期的な点検とお手入れが必要です。

一般家庭用では2～3年に一度、業務用など長時間ご使用になる場合は1年に一度程度、専門家による分解手入れをお申し込みください。

お申し込み先……大阪ガスサービスショップ、サービスステーション、大阪ガス支社

◎上手に、長く、美しくお使いいただくためには、お手入れが大切です。習慣づけるようにしましょう。

◎この湯沸器を設置する場合は、設置基準に従って設置してください。

■おねがい

ガスくさいときは、ガス元せんを閉め、お近くの大阪ガスサービスショップもしくは大阪ガス支社・サービスステーションにご連絡ください。

当社支社の住所・電話番号は裏面に掲載しております。

本社・支社所在地および電話番号表

本	社	大阪市東区平野町5-1	電話	大阪	06	(202) 2221	〒541
南	支	大阪市西成区玉出東2-9-41	電話	大阪	06	(652) 0001	〒557
北	支	大阪市淀川区十三本町3-6-35	電話	大阪	06	(301) 1251	〒532
堺	支	堺市住吉橋町2-2-19	電話	堺	0722	(38) 1131	〒590
北	摂	高槻市藤の里39-6	電話	高槻	0726	(71) 0361	〒569
阪	神	西宮市和上町4-11	電話	西宮	0798	(26) 3101	〒662
東	部	東大阪市稲葉2-3-17	電話	河内	0729	(62) 1131	〒578
京	阪	枚方市西川宮町16-17	電話	枚方	0720	(41) 1251	〒573
神	戸	神戸市中央区相生町5-13-10	電話	神戸	078	(576) 5231	〒650
京	都	京都市中京区烏丸御池梅屋町3-5-8	電話	京都	075	(231) 8151	〒604
奈	良	奈良市学園北2-4-1	電話	奈良	0742	(44) 1111	〒631
和	歌	和歌山市本町1-1	電話	和歌山	0734	(31) 2481	〒640
姫	路	姫路市神屋町4-8	電話	姫路	0792	(85) 2221	〒670
東	播	加古川市加古川町粟津29-1	電話	加古川	0794	(21) 1801	〒675
豊	岡	豊岡市三坂町6-57	電話	豊岡	07962	(3) 2221	〒668
湖	南	草津市追分町字荒巻6-8-0-1	電話	草津	0775	(62) 5311	〒525
彦	根	彦根市大東町9-41	電話	彦根	0749	(22) 3131	〒522
(長	浜	宮島所長浜市南浜服町3-4	電話	長浜	07496	(2) 7171	〒526)

その他当社サービスステーションおよびサービスショップ

- ガス機器をご使用のときは、換気にご注意ください。
- お使いになったあとは、器具コックだけではなく鉄管先のもとコックもかみならずしめましょう。
- ゴム管は、良質の大阪ガス製♡マーク入りのものを、そしてコックについている赤線のところまで深くさしこみ、必ずゴム管止めでしめつけましょう。
- お使いにならない鉄管先のもとコックにはゴムキャップをかぶせておきましょう。

大阪ガス株式会社